

びふか 議会 会 です

こんにちは。

2018年8月
北海道／美深町議会



エンジョイ ハイスクール ライフ

※第106～108号の表紙写真は、開校70周年を迎えた美深高校の写真部とタイアップし掲載します。

CONTENTS

私からのメッセージ	10
政務活動費 平成29年度政務活動費について	8
一般質問 ここが聞きたい 3氏登壇 町の考えを質す	5
条例改正等	4
補正予算 プレミアム商品券事業補助など	2

6月定例会

第106号

美深町議会

検索



この議会広報は、地球にやさしい再生紙を使用しています。

平成30年 第2回定例会

開業医を誘致する条例可決

町民の健康と福祉を守るため

平成30年第2回定例会は、6月18日から20日までの日程で開かれ、補正予算4件、条例制定（委員会報告）1件、条例改正2件、規約変更1件、計画変更1件、町道路線変更1件、工事請負契約2件、財産取得1件、報告2件が提出され審査が行われた。

の中で行っていても
らいたい。
今後、行政もテコ入
れしながら経営改善に
取り組んでいただく。
今回は必要な部分の最
低限度の支援となって
いる。

町長

収支計画は黒
字で計上してい
るが、経営基盤は脆弱
で今後も支援してい
きたい。

補正予算

一般会計及び特別会
計3本の補正。

一般会計では、プレ
ミアム商品券事業補助
凍上による道路破損に
かかる工事請負費、平
成29年度決算剰余金の
処分による公共施設整
備基金への積立など
総額1億6526万円
の補正となった。

特別会計では、道営
中山間地域総合整備事

業の平成31年度予定の
管路工事が今年度に前
倒し施工となったこと
による給水管布設替工
事の追加が主な補正。

質問

募集方法は。
また、新規隊員
3名は募集期間内の申
込みか。

質問

地域おこし協
力隊員1名増の
目的と業務内容は。

企画G主幹

募集は
分野毎に
随時行っている。

企画G主幹

地域おこし協
力隊員1名増の
目的と業務内容は。
新規隊員3名のうち、
2名は申込みによるも
ので、1名は繋がりの中
でこちらから声をか
けて来ていただいた。



集落支援員と地域おこし協力隊

質問

美深振興公社
の平成30年度収
支2700万円の黒字
計画の中で、今回びふ
かアイランド管理費に
多額に補正しているが、
黒字化しても支援は継
続するのか。

企画G主幹

計画で
は一定程
度の黒字を見込んでい
るが、まだ経営状況が
完全に良くなっている
わけではない。経営が
改善されれば、必要な
修繕などは公社の努力

質問

8線道路改修
工事取り止めの
要因は。

建設林務G主幹

社
会資
本整備総合交付金の町
への交付額の配分がな
かったため、今年度は
取り止め先送りとした。

一般会計～主な補正内容～

補正前の額	補正額	補正後の額
50億5017万円	1億6526万円	52億1543万円
総務費	公共施設整備基金積立金	1億7,000万円
農林産業費	経営体育成支援事業補助金	706万円
商工費	商店街活性化事業補助金(プレミアム商品券)	1,817万円
	びふかアイランド施設改修等工事請負費	1,110万円
土木費	道路整備事業工事請負費	3,130万円
	国庫補助事業工事請負費	△8,500万円
教育費	旧恩根内小学校家庭科室等解体工事請負費	290万円

質問 西紋排水機場のフェンス改修の自身は。

建設林務G主幹 冬の今

雪害により一部は倒壊しており、強度を上げ

たフェンスにすべて取り替える。

質問 恩根内出張所に受託型郵便局

を設置するための視察旅費を計上しているがこれまでの進捗状況は。

住民生活課長 道内の受託

型郵便局を視察する内容であるが、前局長からの引継事項であり、現在は郵便局と打合せを進めている状況である。

質問 幼児センターと小学校の公務

補の異動内容、及び、公務補正職員化の今後の考えは。

教育次長 幼児センターは準職員から臨時職員に、美

深小学校には新たに臨時職員を採用した。公務補について、正職員化する考えはない。

質問者 齊藤・小口・

藤原・荒川・南・長岐・岩崎・和田議員
原案可決(全員賛成)



恩根内出張所

美深町開業医誘致条例 審査特別委員会

条例制定

美深町開業医誘致条例

その内容については、対象者として「地域医療への関心が高く積極的に医療活動を行うおととする者」で、「新たに開設する診療所において、継続して10年以上診療を行う者」であること。

平成30年第1回定例会において本特別委員会に付託され、3月13日と4月10日の2回にわたり特別委員会を開催し、担当部局から本条例制定の内容等の説明を受け、慎重に審査を行った。

今回の制定の趣旨は、将来を見据えながら、

町内の医療体制を守るために、新たに診療所を開設する開業医を誘致するため、診療所の開設に係る費用の一部を補助し、地域の医療体制の確保を図り、もって町民の健康と福祉の増進に寄与することとしている。

本条例が施行されることにより、美深町の将来における医療体制の確保と町民の健康と福祉増進を図るためにも、本条例制定は全員一致により原案可決すべきものとして本会議に報告され、全員賛成で可決された。

条例改正

美深町税条例等

個人町民税の非課税基準額の見直し及び中小企業支援のための固定資産税課税標準の特例割合の追加並びに町たばこ税の税率の引き上げと加熱式たばこの課税方式の見直しなどの規定を整備するもの。

質問

個人町民税の非課税基準額の見直しにより、新たに対象となる者はどの程度いるのか。

質問

今回の改正は、所得税法の改正による給与所得控除・公的年金控除の引き下げに伴う非課税基準額の見直しのため、対象者は改正前と変わらない。

質問者 齊藤議員

原案可決（全員賛成）

美深町国民健康保険税条例

平成30年度から北海道が財政運営主体となることに伴う規定の整備や課税限度額と軽減判定所得の引き上げにかかる条例の改正。

質問

課税限度額と軽減判定所得の改正に伴う対象世帯数と金額は。

質問

課税限度額では、3世帯、12万円が対象となる。軽減では、新たに4世帯が対象となり、金額は約11万円。

質問者 小口議員

原案可決（全員賛成）

町道路線変更

町道「恩根内20線道路」にある「藤原踏切」



廃止となる藤原踏切

について、JR北海道が地先の同意を得て踏切を廃止することに伴い、町道の終点を変更するもの。

質問

この町道の必要性はどの程度あるのか。

建設水道課長

明渠の排水路が付属しており、上流から公共的な水が入ってきている。また、隣接する農地の耕作者も数人いるため、町道として維持管理していく必要がある。

質問者 藤原議員

原案可決（全員賛成）

規約変更

名寄地区衛生施設事務組合規約

同組合の副管理者は関係町村の長及び名寄市副市長が充てられているが、副市長の定数が2名から1名に変更になったことによる規約の変更。

原案可決（全員賛成）

工事請負契約の締結

チョウザメ飼育研究施設排水路等造成工事

辺浜地区で整備を進めているチョウザメ飼育研究施設の排水路等造成工事を(株)山崎組が指名競争入札により、7560万円で契約する。

原案可決（全員賛成）

幼児センター調理室等改修工事

幼児センター保育部棟にある調理室の動線を確保するための調理室等改修工事を(株)山崎組が指名競争入札により、7290万円で契約する。

質問

工事期間中の園児への給食は

どうなるのか。

幼児センター長

学校給食

食センターから給食を提供してもらう。

質問者 齊藤議員

原案可決（全員賛成）

財産取得

平成12年度に購入して18年間使用してきた除雪グラダーの更新で、指名競争入札により、2818万8千円で取得するもの。

原案可決（全員賛成）



更新となる除雪グラダー

町政のこゝが聞きたい!!



① 山村留学の課題について

小口英治 議員

問

方向性が見えない
しっかり方針を示すべき

答

体制づくり、
環境をいかに作るかが大事

質問

平成30年3月

山村留学に関する調査特別委員会報告

に対し所見を伺う。

①今後の対策いかんで10年後には地元生がいなくなる状況が推測される。

全国的にも山村留学が減少する中、山村留学に特化するのか、山村留学もある学校にするのか、どの様な学校を目指すのか方針が見えない。

②地域住民が減少する中、山村留学協議会の体制整備をどの様に行うのか。

③同事業を行うには20人程度の生徒数が必要で、親子住宅・ホスターホームも増設が必要とのことだが、整備に関する基本構想を早急に示すべきだが。

④生徒指導に対し専門的な指導が出来る教員やホスターホーム管理指導体制の強化充実をどう図るのか。

⑤山村留学を運営するうえで地域の協力は不可欠であり、地域・学校・教育委員会それぞれ連携して進める。

⑥現在の教職員配置基準等からも生徒数20名は必要。住宅環境整備も対応が求められる状況で、親子住宅・ホスターホームでの受入数をどうしていくか課題もある。

⑦北海道教育委員会の協力を得てスクールカウンセラーの派遣を受け、課題解決に向けて取組を進めている。今後はホスターホームにおいても生徒指導の知識等を有する人材を確保し、良好な勤務形態が確保できるよう、体制整備を図る。

⑧仁宇布小中学校の在り方懇談会の中で、地元の生徒がいなくなる想定で学校を建て替えるのか、大きな投資をして留学生を確保できるのか、多額の投資に町民は納得できるのか等の意見を伺う。

⑨学校の取組等は学校だより等で周知しており、場面場面で仁宇布の状況はお話ししている。一定の方向性ができれば、色々な場面を利用しPRをしなければならぬ。

教育長

①学校を守り地域を守るという強い思いから山村留学がスタートし経過の中で地元の子供がいなくなる時代もあつたが今日までつながつている。学校の目指す姿としては、やはり山村留学をしっかり見据えていくことが大事で、コミュニティ・スクールや特認校制度等検討する中で豊かな自然や小規模の特性を活かした学校運営に努めることが重要。

②山村留学を運営するうえで地域の協力は不可欠であり、地域・学校・教育委員会それぞれ連携して進める。

③現在の教職員配置基準等からも生徒数20名は必要。住宅環境整備も対応が求められる状況で、親子住宅・ホスターホームでの受入数をどうしていくか課題もある。

④北海道教育委員会の協力を得てスクールカウンセラーの派遣を受け、課題解決に向けて取組を進めている。今後はホスターホームにおいても生徒指導の知識等を有する人材を確保し、良好な勤務形態が確保できるよう、体制整備を図る。

⑤仁宇布小中学校の在り方懇談会の中で、地元の生徒がいなくなる想定で学校を建て替えるのか、大きな投資をして留学生を確保できるのか、多額の投資に町民は納得できるのか等の意見を伺う。

⑥学校の取組等は学校だより等で周知しており、場面場面で仁宇布の状況はお話ししている。一定の方向性ができれば、色々な場面を利用しPRをしなければならぬ。

⑦山村留学を運営するうえで地域の協力は不可欠であり、地域・学校・教育委員会それぞれ連携して進める。

⑧現在の教職員配置基準等からも生徒数20名は必要。住宅環境整備も対応が求められる状況で、親子住宅・ホスターホームでの受入数をどうしていくか課題もある。

⑨北海道教育委員会の協力を得てスクールカウンセラーの派遣を受け、課題解決に向けて取組を進めている。今後はホスターホームにおいても生徒指導の知識等を有する人材を確保し、良好な勤務形態が確保できるよう、体制整備を図る。

①学校を守り地域を守るという強い思いから山村留学がスタートし経過の中で地元の子供がいなくなる時代もあつたが今日までつながつている。学校の目指す姿としては、やはり山村留学をしっかり見据えていくことが大事で、コミュニティ・スクールや特認校制度等検討する中で豊かな自然や小規模の特性を活かした学校運営に努めることが重要。

②山村留学を運営するうえで地域の協力は不可欠であり、地域・学校・教育委員会それぞれ連携して進める。

③現在の教職員配置基準等からも生徒数20名は必要。住宅環境整備も対応が求められる状況で、親子住宅・ホスターホームでの受入数をどうしていくか課題もある。

④北海道教育委員会の協力を得てスクールカウンセラーの派遣を受け、課題解決に向けて取組を進めている。今後はホスターホームにおいても生徒指導の知識等を有する人材を確保し、良好な勤務形態が確保できるよう、体制整備を図る。

⑤仁宇布小中学校の在り方懇談会の中で、地元の生徒がいなくなる想定で学校を建て替えるのか、大きな投資をして留学生を確保できるのか、多額の投資に町民は納得できるのか等の意見を伺う。

⑥学校の取組等は学校だより等で周知しており、場面場面で仁宇布の状況はお話ししている。一定の方向性ができれば、色々な場面を利用しPRをしなければならぬ。

⑦山村留学を運営するうえで地域の協力は不可欠であり、地域・学校・教育委員会それぞれ連携して進める。

⑧現在の教職員配置基準等からも生徒数20名は必要。住宅環境整備も対応が求められる状況で、親子住宅・ホスターホームでの受入数をどうしていくか課題もある。

⑨北海道教育委員会の協力を得てスクールカウンセラーの派遣を受け、課題解決に向けて取組を進めている。今後はホスターホームにおいても生徒指導の知識等を有する人材を確保し、良好な勤務形態が確保できるよう、体制整備を図る。



町政のこころが聞きたい!!



藤原 芳幸 議員

- ① 第5次総合計画・少子高齢化人口減少の抑制対策について
- ② 山村留学の継続について

町長 事業推進、産業振興、農業支援、商工業担い手支援などで定住移住支援を進めてきた。また医療、福祉、教育などの行政

質問 第五次総合計画では少子高齢化などに伴う人口減少に対し、人口推計を上回るよう産業振興や移住対策で減少抑制を目指すとしているが、抑制対策の成果は上がっているのか。

町長 人口構造の変化は計画より進

質問 人口減少だけでなく人口構造も変化し、生産人口の減少で町内の経済活動が縮小して行くと考えられる。国自体も同様であり、将来的には交付税も減っていくことが予想されるが、どうとらえているのか。

町長 行政のスリム化やサービスの見直しは避けられない時代になっている。住民からのニーズは多種多様化し、行政の事務事業も増えている現状がある。次期総合計画では地域「コミュニティ・住民自治の推進を重要課題としていきたい。

質問 人口が減るところを前提に持続可能な行政運営を目指すため、次期総合計画の基本計画に具体策を盛り込み行政のスリム化、サービス内容の見直しなど、変更事案を検証できるようにしていく必要があるのではないか。

質問 学校改築のスケジュールは見えるが、ホスターホーム・親子住宅などの課題解決が見えてこない。早急に進めるべきでないか。

教育長 校舎は国の指導もあり、32年整備を目指しているが、受け入れ住宅は財政問題もあり、同時に進めるのは難しく、その後の整備をしたい。ホスターホームは今後の運営上必要な施設であり、体制整備の課題は並行して進めていく。

問 人口減少で今後の町財政は

答 厳しさが増すと考えている



今後の展開に期待がかかる町事業

行が早いと認識している。これからの財政は厳しくなっていくものと考えている。インフラも今あるものを維持、利用していく方向になっている。

問

ホスターホーム・親子住宅などの課題は

答

財政状況を見ながら



早急に課題解決を図りたいホスターホーム

町政のこころが聞きたい!!



岩崎 泰好 議員

- ① 地元で元気に暮らし続けたいという思いにどう寄り添い、対策対応を進めるのか
- ② 自治会策定の地域計画(地域ビジョン)は、第5次総合計画でどのように実を結ぶのか
- ③ 集落支援員や地域おこし協力隊制度を活用した芸術村づくりの新たな展開を

問

雪の被害、災害見舞金の適用は

答

今後のこととして考えていく

質問

大雪による建物などへの被害は大きなものとなったが、それ以上に住民の心の被害が深刻な状況になってきては

いないか。冬の環境対応について、①除雪排雪、屋根の雪下ろしなどの住民の悩みや苦情をどのように受け止めているのか。②特に今期の雪による民間住宅等の被害状況につ

いては、どのような調査を行い、対応や対策を進めて来ているのか。③今後の冬季の対策に、抜本的な改革が必要ではないか。

町長

高齢者など生活支援事業にお

ける除雪サービスの利用者からは、依頼した除排雪作業が早期に実施されないという悩みが届けられた。これは大雪によって除雪事業者が民間除雪を含め一杯の稼働状況となったことによるが、民生委員と連携を図りながら出来る対応等はあった。

町道は、除排雪が必要とされる箇所について即時対応している状

況。民間住宅等の被害状況等の調査は具体的には行っていない。

抜本的な改革に向けては、町・民間とも所有する建物の老朽化が進んでいることが大きな要因であり豪雪地帯に居住する者にとっては、その対応は十分承知しておかなければならないものと考えているが、町として抜本的な対策を講じるということは非常に難しいと考えている。

こうした地域にあっても元気に暮らし続けたいという思いを持ち続けて頂いておられる高齢者の方々は、民生委員協議会や福祉協議会とも連携を図りながらより細かな対応なども協議したいと考えている。

町道の除雪対策についても完全な民間委託により2年目を迎えたわけで、サービスの低下にならないようにしたい。

質問

この雪害というものを1つの災害という捉え方をすると、町条例の中でも災害見舞金条例というものがある。

これを適用して、見舞金を渡していくというような方法も1つの方法かなというように考えるとところだが。

町長

雪も災害という見方もあるが、

災害見舞金条例については、具体的には雪については想定していなかった。将来的にどうするのか、考えておかないといけない。内部で考えさせて頂きたい。

※このほか2項目について質問



雪害を受けたアイランド野外ステージ

議員名	交付額	使用額	返納額
小口 英治	156,000	170,774	0
長岐 和彦	156,000	139,913	16,087
和田 健	156,000	144,093	11,907
中野 勇治	156,000	18,335	137,665
荒川 賢一	156,000	153,418	2,582
藤原 芳幸	156,000	132,248	23,752
岩崎 泰好	156,000	164,329	0
諸岡 勇	156,000	157,003	0
齊藤 和信	156,000	146,018	9,982
南 和博	156,000	170,776	0
倉兼 政彦	156,000	165,458	0
計11名	1,716,000	1,562,365	201,975

政務活動費 平成29年度

美深町議会議員に交付される政務活動費は個々の議員が政策研究や立案のため使途基準に基づいて運用され、決算時の残額は町に返納する。

平成29年度の政務活動費収支報告書では11議員合計の使用額は交付額の88.2%で、11.8%が返納された。

使途の内訳は、調査研究費が交付額の72.5%、研修費14.3%、資料購入費12.5%、事務費0.4%、広報公聴費0.3%となった。

前年度と比較し、使用額全体で6万7千円の減であった。



JRで稚内に行くのは初めてで、しかもこの日の車両はいつもと違う「183系」だと、国鉄OBで先輩議員から知らされました。

自由席は空席が目立つと思い込んで乗ると、予想に反した込み具合でした。停車駅からの乗車客は十数人でしたが、稚内駅で降りた客は改札口まで長蛇の列ができるほどでした。外国客ではなく日本のシニアの個人旅行が多かったです。

帰りの自由席乗客は半減です。幌延までは稚内で用を済ませた方々、中川からは札幌に向か

うと思われる人たちの乗車でした。美深駅で降りたのは私1人で3人が乗車しました。

美深・中川間は天塩川沿いと山斜面ですが、中川を過ぎるとサロベツ原野と宗谷丘陵が広がり、豊富からは利尻岳や日本海に景色が一変します。しかし、防風林が遮ってしまい、特有の風景を堪能することはできません。車内販売も自動販売機もなく、周囲の客はスマホか寝ているかでした。

しかし、鉄道には自動車旅とは違う趣があります。思うのは、手入れされたプラットホームや、個性を生かした無人駅づくりなど、マニアックな人の心をもくすぐるエッセンスがあれば、宗谷本線は旅する人を楽しませると思います。

2 議員に自治功労表彰



全道町村議長会から長年にわたる議会活動に寄与されたとし、倉兼議員（議長7年以上）、南議員（議員15年以上）に対して自治功労者の表彰が6月18日の定例会の折、議場で伝達された。

全道町村議会
議員研修会

■7月3日、札幌市コンベンションセンターで開催され、全道の町村議会議員が一同に会した。

歴史家で作家の加来耕三氏が「明治維新から150年、現在そして未来を考える」、また日本大学法学部教授の岩井奉信氏が「現代日本政治と政局のゆくえ」と題した講演が行われた。



さげます・内水面水産試験場視察

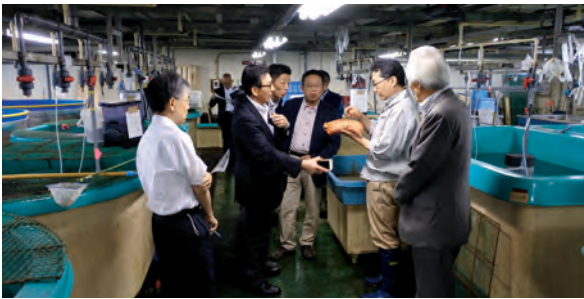
■恵庭市にある当施設は「ニジマス」を出荷可能な1キロまで屋内水槽で養殖することに道内初となる成功を収めたことで注目されている。美深町の「チョウザメ養殖事業」にも推進委員を派遣しており当町との連携強化を期待する。



日本理化学工業㈱
視察

■美唄市にある学校で使用するダストレスチョークなどを製造する会社で、全社員85名中63名の知的障がい者が働いている。

会社と雇用される障がい者が相互理解のもと、働きやすい環境づくりが進められており、様々な工夫を凝らした製造ラインが確立されていた。



議会の動き・予定

- 6/11 議会運営委員会
- 6/18～20 第2回定例会
 - 6/18 提案説明、一般質問
 - 6/20 本会議、議案審議
- 6/20 議会運営委員会
議会広報特別委員会
- 7/3～4 全道町村議会議員研修会
- 7/23 産業教育常任委員会
所管事務調査
- 7/26 議会広報特別委員会
- 8/1 第4回臨時会
- 8/7 議会広報特別委員会
- 8/20 総務住民常任委員会
所管事務調査
- 8/21～22 全道広報研修会

臨時会

第4回臨時会

8月1日

一般会計補正予算

7月3～4日にかけて、台風7号の影響で活発化した梅雨前線による豪雨で被災した箇所の復旧にかかる経費を追加する。町道菊丘線及び東3号道路北線災害復旧工事費など総

額1453万円の補正となった。

原案可決（全員賛成）



町道菊丘線被災箇所



私からのメッセージ

美深町で活動されているお二人に
メッセージをいただきました



自主企画ライブを始め、36年・・・

吉田 克之

私が初めてアマチュアバンドの自主企画ライブを企画したのは1983年、当時22歳でした。若い世代が音楽で地域活性化するのが目的でした。当時はライブ知識もなにもありませんでした。

だが、年ごとに人材・機材・資金も充実し、現在年間8本程度の自主企画ライブを運営しています。演奏者は年間200人を超え、道内各地から美深町へ来てくれています。演奏場所も美深町文

化会館COM1000、アートヴィレッジ恩根内、ナイト・パブトッピン、びふかアイランド野外ステージ、美深町民広場、リフレッシュ広場21、トロッコ王国美深、びふか夜市etc・・・と関係者

の皆さんのご支援ご協力のおかげで美深には演奏場所がたくさんあります。室内外を問わずに演奏ができ、特に音の良さが高く評価されています。また町民の皆さんのご理解のおかげで、騒音等の苦情が全くないのが嬉しいです。この先どこまで出来るかわかりませんが、『音楽の流れる美しく深い町』を目指し、精進していきます。

美深町商工会に勤務して

加川 珠貴

私は今年度より、美深町商工会に記帳指導職員として勤務しております。

昨年一年間、事務に携わっていたこともあり、事務的スキルも活かしつつ町内の方々の関わりが多い職に就きたいという思いがあり、

美深町商工会への就職を希望致しました。実際に働いて、記帳等の業務はもちろんのこと、町内のイベントに携わることも多く、美深町に直接貢献できる点や、日々町民の皆様と関わる中で持ち前の明るさを活かすこと

が出来ていると感じる面も多く、私の望んでいる職業であったと思っております。現在は商工会女性部と工業部会を担当しており、覚えることが多い焦りを感じることもありますが、周りの方々にサポートをしていただき、楽しく働くことが出来ております。

園部会長をはじめ、役員、会員の皆様の温かさや、親切なご指導のおかげで充実した生活を送ることができ、良い職場環境を作っていくことの大切さを改めて実感しました。

より一層、商工会職員としての知識を深め、皆様の経営をサポートできるように努力して参りますので、ご指導よろしくお願致します。

だき、楽しく働くことが出来ております。

編集／美深町議会広報特別委員会
印刷／有美深印刷



7月26日 飲酒運転根絶キャラバン隊来町

一瞬の気の緩みが事故招き
一杯の美酒ですまない赤キップ
飲酒運転撲滅宣言